様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和4年6月17日

部局等名	環境部	課かい名	環境政策課	推進責任者氏名	森井　武

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	・二市一町で取り組む湘南エコウェーブで作成したエコバックを市民向けに配布して啓発活動に努めました。また、業務中資料を運ぶ際に積極的にエコバックを使用したり、飲食時に職員一人ひとりがマイボトルを使用するなど、ごみの排出抑制に努めました。 ・お昼の飲食時や業務中に出るごみなど、積極的に持ち帰るよう意識することで、ごみの排出抑制に努めました。
	具体的内容	・マイバッグやマイボトルの推奨を図り、ごみの排出抑制に努めます。 ・可能な限り、ごみを持ち帰り、排出抑制に努めます。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	・作成した資料は、電子上でチェックしてから印刷することでミスプリ等を減らすよう心がけました。 ・打ち合わせ資料印刷の際に、集約印刷や裏紙印刷、両面印刷を徹底しました。また、余白を減らす資料作成を心がけることで印刷枚数の削減に努めました。
	具体的内容	・資料の印刷は、ミスプリ等を防ぐため、チェックを心がけます。 ・可能な限り両面印刷・集約印刷、裏面を利用します。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	昼休み、会議の際など長時間離席する場合は、PCのふたをとじることを徹底しました。また、退庁時にはPCの電源コンセントを外して待機電力の削減や、プリンター電源のオフ確認を徹底しました。
	具体的内容	・離席時は必ずPCのふたを閉じるか、電源を切って省エネに徹底します。	

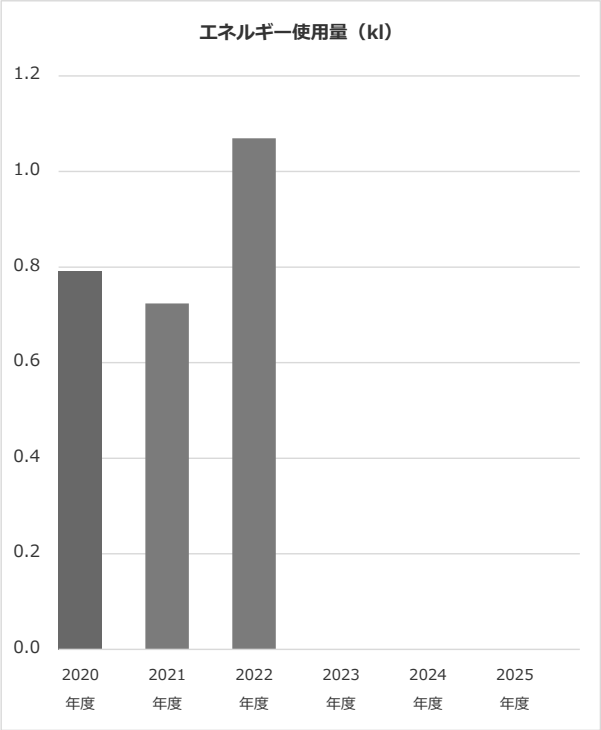
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　47.8 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	南口マナースペースの脱臭空気清浄機は、人感センサーでスイッチが入る仕様になっているため、エネルギー使用量は、利用者の多寡によって変動する。新型コロナウイルスが落ち着き、利用者が増加したため、結果的に前年度と比較するとエネルギー使用量が増加したと思われる。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	30.7	28.1	41.5			
エネルギー使用量（kl）	0.8	0.7	1.1	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	-8.6%	47.8%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	南口駅前マナースペース	計画	スモークポイントフィルターのつまりによる電力使用量上昇を防ぐため、計画的に点検を実施する。
		実績	フィルターつまりによる電力使用量の変化はほぼ影響しないことが発覚したが、定期点検は計画通りに実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月17日、課内ミーティングで当年度の「重点取組目標」や「取組目標」、それぞれの具体的な取り組みを設定し、共有を図った。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月24日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エコオフィス行動ルールの取組目標は、重点取組項目の廃棄物の削減を意識してマイバック･マイボトルの推奨を図るとともにごみの持ち帰りや分別を徹底することでごみの排出の抑制に努めることができた。また、資源の有効活用として紙資料の印刷枚数削減の工夫やエネルギー使用量の削減としてPCの省エネ方法を積極的に実施など省資源･省エネの取組に努めることができた。こうした取り組みを実践できたことは職員一人ひとりが意識して業務推進に努めたことの表れであり、評価に値する。 一方、電力逼迫により資産経営課と連携して全庁に向けて省エネ啓発や職員向けに気候危機の研修会実施等により情報発信を行ったが、十分なレベルに達していない。全職員へのさらなる意識啓発が必要であると考える。	エコオフィス行動ルールの取組は、引き続き他課の模範となるように課職員一丸となって目標達成に向けて努力していきたい。 また、温室効果ガスの削減というC-EMSの全庁目標達成も含め、カーボンニュートラルを実現するためにも、引き続き全庁に向けて脱炭素施策の周知啓発をしていくとともに、より効果のある取組実施に向けて他課との連携を深めていきたい。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和4年5月　 日

部局等名	環境部	課かい名	環境保全課	推進責任者氏名	添田　裕巳

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	取組項目	C. 廃棄物の削減	プラごみが可燃ごみに混在しないようにごみ箱を分け、点検を実施した。
	具体的内容	容器包装プラステックごみのリサイクルの推進 プラごみが可燃ごみに混入しないように課内のごみ箱内を点検する。	
2	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	ノー残業デイ（毎週水曜日）及び毎月20日（給料日）には、突発的業務が発生しない限り全員定時に退庁した。加えて、常時定時退庁を推進できた。
	具体的内容	電気・燃料使用量の削減 ノー残業デイ（毎週水曜日）及び毎月20日（給料日）は全員定時に退庁する。また常時定時退庁を推進する。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	課所有の公用車については、エコドライブを実施したが、燃料費高騰の影響によりガソリン使用量がR3の486．14ℓから476．89ℓ（推計値）となった。年度の途中で、燃料費が不足することが見込まれたため、環境政策課のEV車を活用しながら業務に支障が出ないようにした。次年度も燃料費が高止まりすることが想定されるため、エコドライブを徹底する。
	具体的内容	公用車燃料使用量削減 課で管理する公用車について、エコドライブを推進し、燃費を前年比1%改善する。また、走行ルートの合理化をを図ります。	

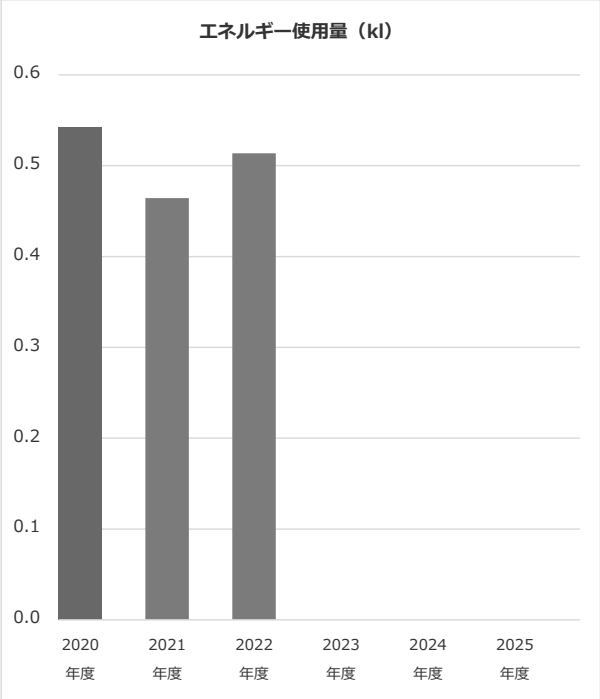
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　10.6 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	オストメイト対応設備を設置したため、電気使用量が増加している。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	21.0	18.0	19.9			
エネルギー使用量（kl）	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	−14.3%	10.6%	−100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	公衆便所（6箇所）	計画	利用者にトイレの節水、節電のお願いを掲示
		実績	利用者向けにトイレの節水、節電のお願いを掲示した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月３日に実施 （対象者１１名中８名参加。欠席者には別途決定事項の周知を実施）。 C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	６月８日に実施。今回は前年度と変更なし。
新任・異動者研修	■ 実施	６月８日に実施（対象者４名中２名参加（再掲）。欠席者には別途決定事項の周知を実施） C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和　5年　3月10日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エコドライブや省エネルギーを意識したPCの消灯などの取り組みを行ったが、燃料費の高騰や在宅の時間が増大し、野焼きや空き家などの通報や相談件数が増加している。これらの要因により、『公用車燃料使用量削減行動』の目標達成が困難となった。	エネルギー利用量の単価上昇が止まらないため、職員や施設利用者に対して節水や節電等の意識をさらに持ってもらうよう、さまざまな機会をとらえて意識づけを行っていくこととEVや自転車のさらなる活用をしていく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 5年 3月 2日

部局等名	環境部	課かい名	資源循環課	推進責任者氏名	熊沢 剛

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	使用済みの紙類については、資源化にするとともに、個人情報が記載された書類についてもシュレッター処理し再資源化を行った。
	具体的内容	個人情報を含む書類を焼却処理せず、シュレッダー処理することにより、もやせるごみの量を削減します。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	資料作成にあたっては、両面印刷、集約印刷、確認用であれば裏紙の再利用を行った。
	具体的内容	両面印刷、集約印刷、裏紙の再利用を推進します。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	荷物等の運搬がない場合、上下3階の移動はエレベーターでなく階段を利用した。
	具体的内容	エレベーターの利用を控え上下3階は階段を利用します。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

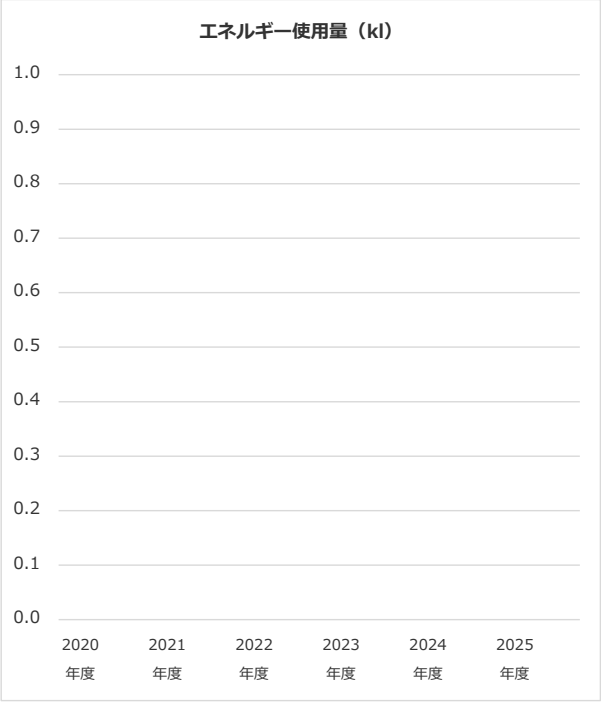
実績	前年度比 %	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）						
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

様式1

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月1日に実施、C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	廃棄物処理は各主管課、回収調整とマニフェスト管理は資源循環課にて実施のため、様式２は資源循環課にて作成し各課に参考送付した。
新任・異動者研修	■ 実施	8月10日に実施（対象者1名全員参加）。 C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和　5年　3月　2日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
計画に掲げたそれぞれの目標について、順調に取り組みを進めることができた。 特に資源の再利用と廃棄物の削減については、全庁の模範となるよう努めた。	資源の再利用と廃棄物の削減をより一層推進するため、引き続き模範となるよう取組を進めるとともに、全庁的に周知啓発を行っていく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月13日

部局等名	環境部	課かい名	環境事業センター（管理担当）	推進責任者氏名	富田　雄也

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品の購入については、適切に購入し、ファイル等繰り返し使用できるものは、可能な限り使用することで、資源の有効利用を実施しました。
	具体的内容	事務用品は計画的に購入し、適切な在庫管理を図ります。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	公用軽自動車の利用にあたっては、効率のよい運用に努めた結果、前年比1%以上の削減を達成することができました。
	具体的内容	公用軽自動車利用にあたっては、職場内で相乗りするなどして削減に努めます。（前年比1%以上）	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	出勤日の昼休みに不必要な照明等を消灯するとともに室内の使用していない箇所の電気を細目に切ることで節電を図った。 (開所日及び土曜受入日、年間310日実施)
	具体的内容	昼休みに不必要な照明を消灯します。（年間262日）	

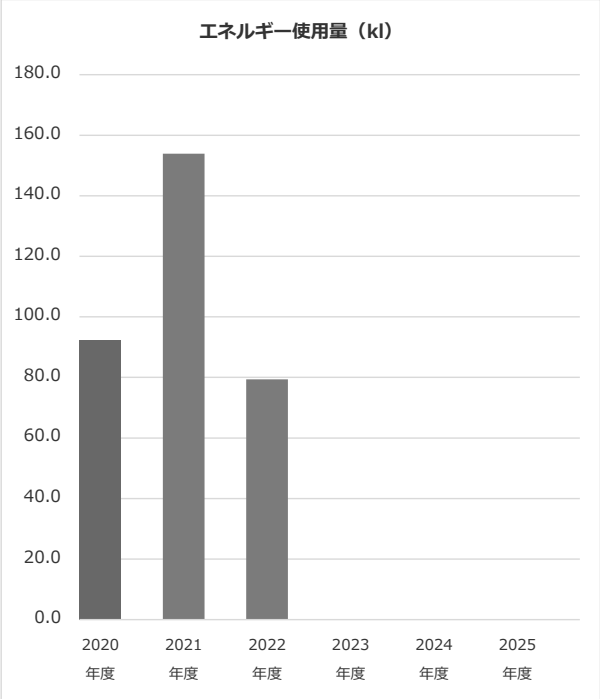
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 −48.5 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	令和4年度の焼却炉及びボイラ・ﾀｰﾋﾞﾝの点検にかかる停止期間が前年度より短期であったため。かつ、ごみ有料化に伴いごみが減り、機器の稼働時間が減ったため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	3578.7	5965.7	3074.9			
エネルギー使用量（kl）	92.3	153.9	79.3	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	66.7%	−48.5%	−100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	環境事業センター（旧清掃事業所）	計画	空調設備の定期的な保守及び点検
		実績	計画どおり実施しました
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	５月３０日実施。C-EMSの概要と今年度の「重点確認項目」について確認と、取組目標及び具体的な取組を確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	５月３０日実施。環境リスクと対応手順について確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	５月３０日課内研修に合わせて実施。 課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月13日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
事務用品の利用については、適切な管理と有効活用を実施した。 公用軽自動車の燃料使用量の削減や不要な照明器具の消灯による節電については、目標を達成することができましたので、引き続き、これを維持してもらいたい。	今後においても引き続き職員の環境配慮の意識啓発をはかり、不要な照明の消灯、空調機の運転管理などによる節電や節水を心がけ、省エネを意識した施設の安全管理に努めます。 なお引き続き公用軽自動車の運転につきましては、センター内で調整をとり効率的な運行及び省エネ運転を心がけ、燃料削減に努めてまいります。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月13日

部局等名	環境部	課かい名	環境事業センター（業務担当）	推進責任者氏名	富田　雄也

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品や備品の購入については、適切に計画して購入し、繰り返し使用できるものや修理して使用できるものは、可能な限り使用することで、資源の有効利用を実施しました。
	具体的内容	物品及び備品の修繕利用に努め、使用期間の長期化を図ります。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	乗り合わせや、二度手間とならないように努めて運用していたが、令和4年度では、ごみ有料化が実施され、周知活動等で現場に出ることが増えていることもあり、運用する機会が増加したため削減することができませんでした。
	具体的内容	所内と本庁との事務連絡の効率化により公用軽自動車使用節減を推進します。（前年比1%減以上）	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	空調は必要時のみ最低限度の使用にとどめたり、照明についても、使用していない部屋は、こまめにスイッチを切るなど努めたことにより、前年度より1%以上削減することが出来ました。
	具体的内容	冷暖房使用時間の節減及び使用していない照明の一部を節減します。（前年比1%以上）	

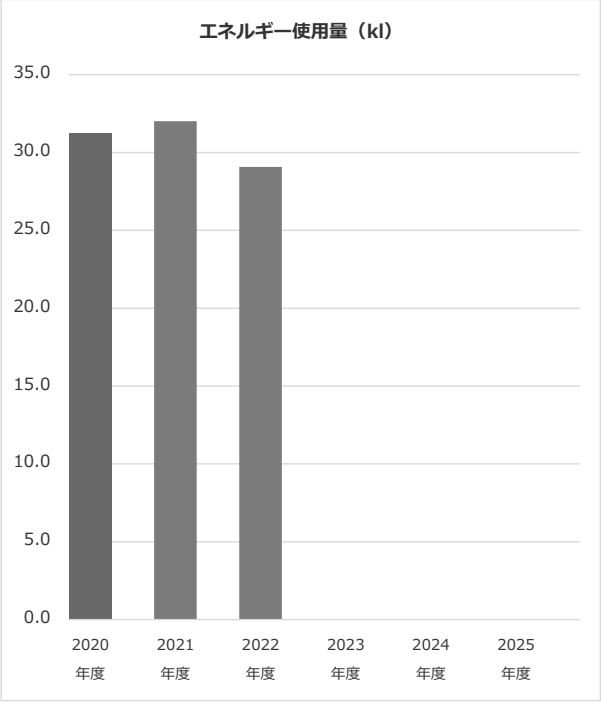
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　　-9.2 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	民間活力の導入により収集運搬車両の削減を行ったため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	1211.7	1241.0	1126.8			
エネルギー使用量（kl）	31.3	32.0	29.1	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	2.4%	-9.2%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	環境事業センター（旧収集事務所）	計画	空調設備の定期的な保守及び点検
		実績	定期的な点検や清掃を実施した
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	５月２７日実施。C-EMSの概要と今年度の「重点確認項目」について確認と、取組目標及び具体的な取組を確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	５月２７日実施。環境リスクと対応手順について確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	５月２７日課内研修に合わせて実施。 課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月13日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
不要な照明をこまめに消灯したり、空調機の適正な運転を実施したことにより節電となり、エネルギー使用量の削減ができました。しかし本庁連絡用の公用車の使用については、ごみ有料化の啓発活動で使用したことにより、燃料使用量の削減につなげられず、目標達成となりませんでした。 その他、携帯タイマーを利用したボイラースイッチのオン･オフの切り替えによる省エネを実践したり、階段踊り場に光熱水費の月々の使用料を掲示することで職員の省エネ意識の高揚を図り、職員ひとりひとりが節電･節水の必要性の共通認識を持って、行動できるよう行いました。	今後も引き続きこれらの活動を継続し、職員の環境配慮の意識啓発を図り、不要な照明の消灯、空調機の運転管理などによる節電や節水を心がけ、省エネを意識した施設管理に努めてまいります。また、本庁との連絡等については、センター内で調整をとり効率的な運行及び省エネ運転を心がけ、燃料削減に努めてまいります。 そして、取り組み目標達成のため、新たに着手できるような取組があれば積極的に取り組んでいきたいと考えております。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月13日

部局等名	環境部	課かい名	環境事業センター（堤十二天最終処分場）	推進責任者氏名	富田　雄也

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品の購入については、適切に購入し、ファイル等繰り返し使用できるものは、可能な限り使用することで、資源の有効利用を実施しました。
	具体的内容	事務用品は計画的に購入し、適切な在庫管理を図ります。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	走行速度や運行ルートに注意し、省エネ運転に努めて、焼却灰運搬車を運行しました。（前年比1%以上達成しました）
	具体的内容	焼却灰運搬車の省エネ運転を推進します。（前年比1%以上）	
3	取組項目	E. その他	熱中症警戒アラート及び暑さ指数をチェックして予防に努めた。さらに、こまめに水分補給をし、作業員の状態を確認しながら、作業を行った。
	具体的内容	夏季の屋外作業時は定期的に水分・塩分を摂取し、熱中症予防を推進します。	

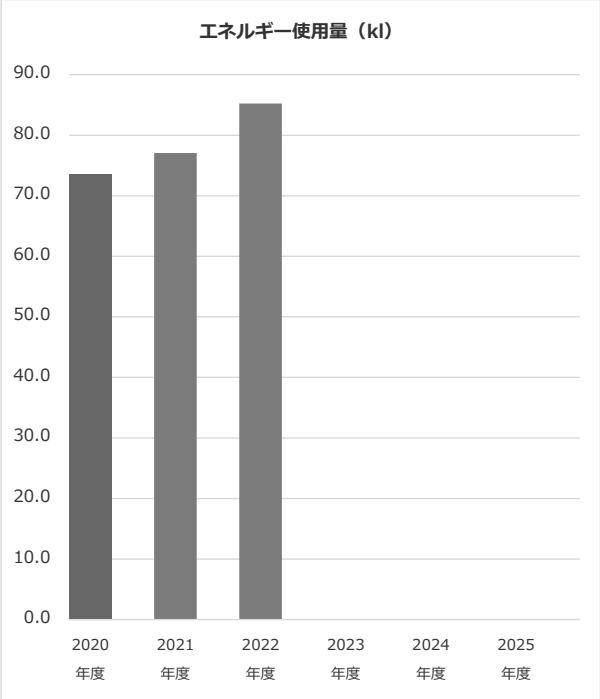
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　10.6 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	ブロワー等の機器の稼働時間が増えたため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	2852.5	2986.2	3304.0			
エネルギー使用量（kl）	73.6	77.0	85.2	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	4.7%	10.6%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	環境事業センター（堤十二天最終処分場）	計画	空調設備の定期的な保守及び点検
		実績	計画どおり実施した
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	５月３０日実施。C-EMSの概要と今年度の「重点確認項目」について確認と、取組目標及び具体的な取組を確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	５月３０日実施。環境リスクと対応手順について確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	５月３０日課内研修に合わせて実施。 課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月13日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
事務用品の利用については、適切な管理と有効活用を実施した。 運搬車両の燃料消費については、昨年度より削減することができましたので、引き続き、これを維持してもらいたい。	今後においても引き続き職員の環境配慮の意識啓発をはかり、不要な照明の消灯、空調機の運転管理などによる節電や節水を心がけ、省エネを意識した施設の安全管理に努めます。